

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	kidshouse-okay		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年3月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	やりたいことを尊重できる環境で「できた」「やりたい」を増やす。	個々の意思を引き出すよう見守りを行っている。その中で、言葉を発する事や行動する過程を言語化し本児の「できた」を一緒に共感できる環境。	家族と一緒に「できた」を共感できるよう、保護者の方と日頃から話しやすい環境作り、支援の環境を作る。
2	異年齢との関り 年中～中学1年生までの男女の児童と一緒に活動している。	年齢の異なる児童が、見よう見まねでいろいろな情報を共有しチャレンジできる環境を大切にしている。 小集団の中で、譲り合いや話し合い等行動を共にすることで折り合いがつけられるよう子どもたち同士の話し合いを大事にしています。	制作や活動の工程等いくつかの難度を選択できる環境をつくり難度に応じた支援の工夫を職員間で話し合い実践することによりチャレンジすることが増える様話し合いの会を設ける。
3	お家のようにリラックスできるような環境作り	見通しのよいフロアとなっており、一人で自由に行動できる環境である。その中で、自分の好きな遊びや集中できる場所等自己決定を育みできたに繋げていけるよう見守っています。	個々の様子に応じて安心して身の回りのことに挑戦できるような環境作りを継続します(トイレトレーニング、着替え等)ままごとや遊びからやってみようという気持ちや自己表現の楽しさを味わえる体験に結び付けられるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族も参加できる研修会等の機会について	さまざまな特性の子どもたちにご利用いただいておりますが、また、課題感もさまざまであるため、一律的なペアレント・トレーニングを実施することが効果的か検討する必要がありますと考えております。	ご利用者の皆様全員に必要な情報は保護者会等を通してお伝えしながら、各ご家庭や子どもの個別の課題感や支援については、随時メールや電話等で情報共有させていただき、必要に応じて面談の場を設けて課題にあわせた情報提供やアドバイス等を行ってまいりたいと考えております
2	各種マニュアルの策定や非常災害を想定した定期的な避難訓練等の情報発信について	行政の所管部署ともご相談しながら各種マニュアルを策定したり、定期的な避難訓練を実施したりしていますが保護者の皆様にはしっかりと伝わっていない現状があります。	通信等での発信や保護者会でのご説明だけでなく、各種マニュアルや避難訓練の実施のみを扱ったお手紙等のご案内を発信していくことで、他の情報に埋もれず、保護者の皆様にはしっかりと情報をお伝えすることができる仕組みづくりに取り組んでまいります。
3			